

サインデザインの現場 PART III

KANBAN SHOP ジュン企画 (山梨県甲府市)

トータルプランニングでの展開

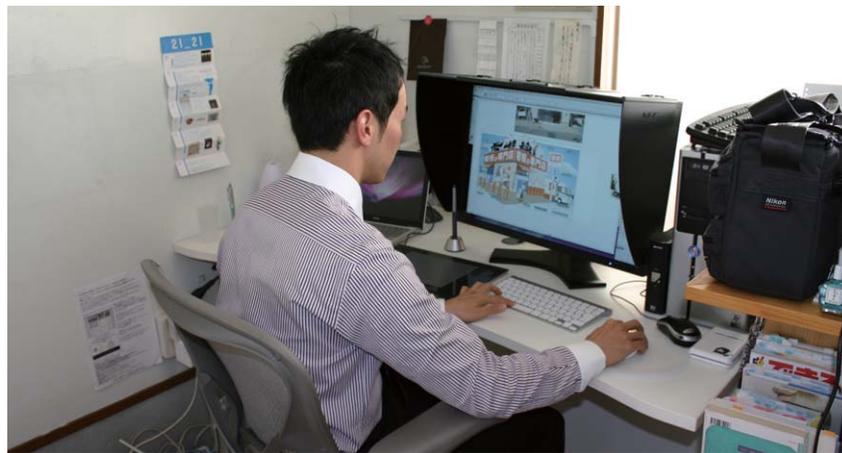
KANBAN SHOP ジュン企画は、編集・Web・写真等の技術をサインデザインにも応用。「デザインの提案は“何故”この書体なのか、キャッチコピーなのか、色なのか、写真なのか等すべてに対して明解に答えられるものであるべき。それには、クライアントとの綿密な打ち合わせが欠かせない」(同社デザイナー・降矢忍氏)

また、各種販促ツール(名刺、パンフレット、ホームページ制作、写真撮影)の受注に取組む等、クライアントの要望にトータルに応じていく方針だ。一貫した販促ツールを提供することで、「看板の受注拡大にもつながるとともにクライアントの利便性も向上する」

サインデザインは奥が深い。あらゆるデザインに精通し、かつ製作現場経験も必要となる。同社では、人材育成を含めさらなるスキルアップに取り組む方針だ。

★デザイン担当者の声★

サインデザインは、クライアントとその店舗に来るお客様のコミュニケーションの橋渡しの役割を担うものだと思います。クライアントが伝えたいこと、対象となるお客様が知りたいこと、これらの情報を整理して物事の本質を捉え、サインデザインとしての確に表現できるように努めています。



編集・Web・写真技術等、多角的な視点からデザインに取り組む。

●自社デザインによるサイン提案例



リニューアル前



YAKINIKU

黒毛和牛専門店 マルキン

ボール看板：遠方からでも目を引くようなデザインに。カラーは目に飛び込んでやすい赤。業態を明らかにするため「焼肉」という文字を強調。



懸垂幕：信号待ちをする車両からよく見える位置。お手軽な価格で食事できることをアピールすべく「ランチ750円〜」といった文字だけシンプルに表現。



ターボリン看板：入口側に配置し、店舗の活気を演出。ユーモアをきかせたキャッチコピーでPR効果も。



野立て看板：懸垂幕と同条件の位置。その特性を活かし“臨場感”を演出した合成写真をメインに、焼肉のお得なセット料金等を記載。

●自社デザイン施工例



イラスト、会社名、電話番号のみというシンプルな野立て看板。これが逆にインパクトを与える。使用カラーも、周囲にない茶色で目立たせた。アルミ複合板、塩ビシート貼り、H2000×W6000×D200mm。



スポーツジムらしく運動のビジュアルと動きをつけた文字デザイン。夜間は看板全体に照明があたり、壁面のオレンジ色がより目立ち、視認性もアップ。



施工完了